

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	36832
事業名	地域活動推進費					
評価担当課	所 属	教)生涯学習部 生涯学習推進課			電話番号	011-211-3872
施策名	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	急激な社会情勢の変化に伴い、学校の抱える課題が複雑化・多様化し、学校だけでは解決が難しくなっている現状や、地域社会のつながりや支え合いの希薄化による地域の教育力の低下などが指摘されていることから、学校だけではなく社会全体で子どもの育ちを支えていく環境づくりが求められている。
	事業内容 (何を実施し)	【事業内容】 ①地域人材を活用した学校図書館運営事業:子どもたちの読書活動の充実や多世代交流による生涯学習機会を提供するため、地域人材を活用して学校図書館を運営し、各種行事の企画・実施や地域住民に向けた開放を行う。(S53年度～) ②地域学校協働活動推進事業:地域の人材や企業等の社会資源、地域における様々な活動等を活用し、子どもたちを対象に多様な学びや体験の機会を提供するとともに、活動の実施を通じて、地域と学校の持続可能な連携・協働の体制づくりを支援する。(H26年度～) ③知的障がい者のための学びの応援事業:知的障がい者への生涯学習支援として「成人学級」を開設する。(H2年度～) 【実施結果】 ①2校の新規開設を行い、合わせて122校で開放司書を始めとするボランティアが図書の貸出等の業務を実施した。行事参加者数:延べ282, 798人 ②36校32協議会で子どもたちに学びや体験の場を提供し、延べ34, 733人(うち子どもの参加人数27, 605人)が参加した。 ③既存2団体が活動。レクリエーションなどの対面・直接交流プログラムや、録画映像を用いた自宅学習プログラムなど計8回実施した。
	どのような状態にしたい (状態を維持したい)	①②地域の力を生かした多様な学びや体験の機会の提供を通じて、地域と学校の持続可能な連携・協働の仕組みを整え、地域全体で子どもの成長を支える環境を醸成するとともに、子どもたちとの関わり合いを通じて学校を核とした地域づくりへとつなげる③心身が充実した豊かな生活や、地域社会への参加促進につなげる
	他都市の状況	①名古屋市では体育・文化施設開放に図書室を含んでいる。また、仙台市や川崎市では一部学校で土日開放を実施。福岡県古賀市では、小中学校で平日に地域開放を実施している(学校司書対応)。 ②本市を含む全政令市で地域学校協働活動に関わる取り組みを実施している。 ③成年(青年)学級のほか、PTAの地域活動など、様々な形態での実施事例あり。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☒ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	79,058 千円	うち特定財源	1,800 千円	正規職員業務量	2.7 人工
令和5年度予算額	90,000 千円	うち特定財源	3,319 千円	正規職員業務量	2.7 人工
令和5年度決算額	82,702 千円	うち特定財源	2,300 千円	正規職員業務量	2.7 人工
令和6年度予算額	120,000 千円	うち特定財源	8,754 千円	正規職員業務量	2.7 人工

指標	アウトプット 活動指標1	①実施校数(校)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		28	35	36	85	95	105
	↓						
	アウトカム 成果指標1	①多様な学びや体験の場に参加した子どもの年間参加者数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		13,061	17,000	27,605	40,000	46,000	51,000
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	研修会の開催や広報誌の発行、学校や地域への個別訪問等により実施校数が増加したことや、授業等平日の実施により、年間参加者数が増加した。					
	アウトプット 活動指標2	②実施校数(校)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		120	124	122	123	128	130
	↓						
	アウトカム 成果指標2	②行事参加者数(人)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		227,879	275,120	282,798	306,600	364,800	409,160
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	共働き世帯の増加などを背景にボランティアの確保が難しくなっており、休館する事例が増えている。保護者や地域の参加を促進する関連行事を行うことで、人材を発掘し担い手不足の解消に繋げる。					

今年度の見直し内容	②学校と地域の協働に向けたコーディネート機能の強化を図るべく、社会教育法に基づき、地域人材等を対象に札幌市地域学校協働活動推進員の設置を進めている
来年度以降の方向性	引き続き実施校の拡大に努めるほか、全市的なコミュニティ・スクールの導入を見据え、学校と地域をつなぐ中核的な役割を担う地域学校協働活動推進員の設置を進めるなど、学校等関係者の負担に配慮しながら、地域と学校の持続可能な連携・協働の体制づくりを支援する。